

新型コロナウイルス抗体検査を受けるにあたりご理解ください

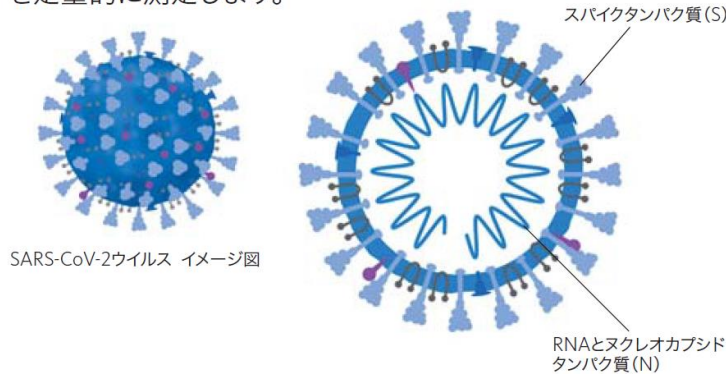
『今までの抗体検査との違いについて』

新型コロナウイルスは簡単に例えるとカプセルの中に遺伝子が入った構造です。カプセルの外にS蛋白質（スパイクタンパク質）というものがあり、現在主に使用されている mRNA ワクチンはこのS蛋白質に対する抗体を体内に作ることを目的としています。S蛋白質に抗体が結合することでウイルスの感染力を弱める効果が期待され、これを中和抗体といいます。

今回の抗体検査はS蛋白質に対する抗体を測定しますので、過去の感染のみならず**新型コロナウイルスワクチン接種による中和抗体の量を知る**ことができます。

使用抗原:スパイクタンパク質(S)

本品はSARS-CoV-2のスパイクタンパク質に対するIgG抗体を定量的に測定します。



最終的に新型コロナウイルスワクチンの効果がどの程度持続するのかはまだ明らかにされておられません。

今後、新型コロナウイルスワクチン接種後、どこまで抗体価（抗体量）が下がった場合に追加接種の必要性があるかについての報告が期待されます。

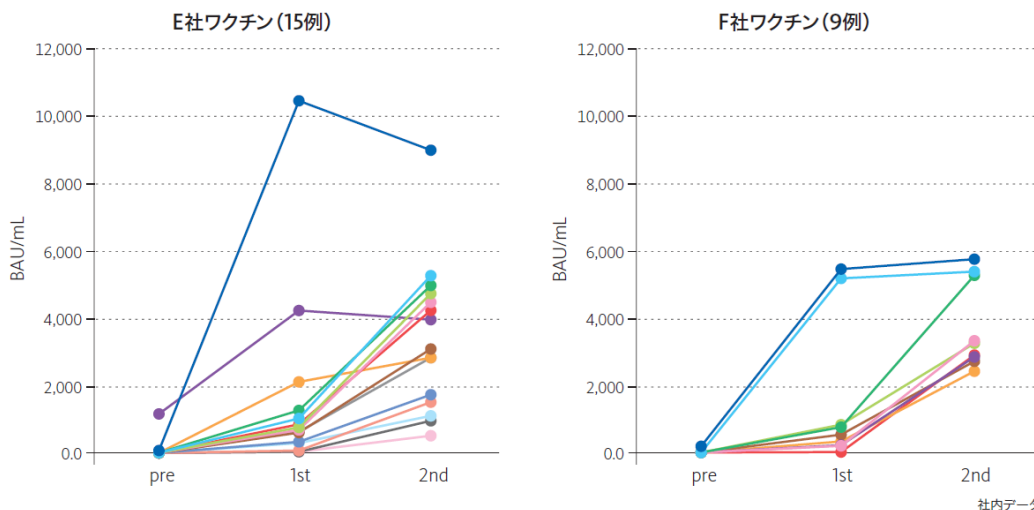
ご自身の中和抗体がいつまで保持されているか気になる方は定期的な抗体検査をお勧めします。

中和抗体が高ければ絶対に感染しないことを保証するものではありません。

ワクチン接種前後の検体測定結果

ワクチン接種前 (pre)、1回目のワクチン接種から約20~30日後 (1st)、2回目のワクチン接種から約2週間後 (2nd) の3時点で採血した血清検体を測定しました。

※本結果は、ワクチンの効能効果、中和活性を示すデータではありません。



抗体量と感染予防、重症化予防の効果については未だ明確な答えは出されておられません。よって、抗体値がいくつ以上であれば感染、重症化しにくいといったことは明らかにされておられません。この検査結果を元に抗体陽性であるから、抗体量が多いからといって感染防御策を怠ることは推奨されません。

この点につきましては、現在研究が進められておりますので、将来的には示されるかもしれません。

また、今後3回目ワクチン接種が行われた場合に比較のための参考値となる可能性があります。

この検査は、現在新型コロナウイルスに感染していることを調べる為の検査ではありません。現在感染しているかを調べる場合はPCR検査、抗原検査等の他の検査を受けてください。

陰性（-）判定の場合

残念ながら抗体値が20 BAU/ml未満（陰性）の場合は抗体が十分に作られていない可能性があります。

但し、いったん作られた抗体も時間経過とともに減少してきますので作られはしたが減ったために検査した時点では残っていなかった可能性もあります。

今後追加のワクチン接種を行うべきかについては明確な指針は発表されておられません。ワクチン接種で抗体が出来ていない場合、追加接種しても抗体が産生されないのではないかという疑念が湧きますが、それも明らかにはなっていませんので、現時点では追加接種が必要とも無駄とも断定は出来ません。

ただ、ワクチンによって得られる効果はこの中和抗体だけではありません。ウイルスを直接攻撃するT細胞等もワクチンによって新たに生まれていますので、これによる防御も期待出来ます。このT細胞等を測る検査は特殊であり一般には行われておられません。

◎スパイクタンパク質（S蛋白質）抗体検査

対象	新型コロナウイルスに対する抗体価（抗体量）を知りたい方 ワクチン接種後については、2回目の接種後14日以降の検査を推奨しています
検査方法	血液検査（当院外来にて血液を採取します）
検査期間	1日
費用	4,950円（税込）
結果	検査結果を後日郵送にてご自宅等にお届け致します 20 BAU/ml以上が抗体陽性（抗体が作られている） 20 BAU/ml未満が抗体陰性（抗体がない or 抗体量が少ない）